

補足資料

	スカウティング	選手育成のプロセス	資金繰り
現状	①2022は十数名から相談あり ②SF枠は1名 ③SF、AO、指定校、一般、その他入試でやり繰り ④大学初心者も積極的に勧誘	①コーチング: 桑井、西川、高橋、市原に加えて外部コーチ(柏木、小野他) ②試合経験、対外練習の蓄積 ③資金援助	2022: 昭和10名、平成28名 2023: 昭和10名、平成11名
計画	①HPスカウトページを充実させて、各校に案内 ②他の方法	①外部コーチの学長委嘱* ②練習参加者の増強(OBOG、他校卒業生)	緊急検討項目 OBOGの日曜練習参加など
目標	①1部リーグ残留の条件として、男女各2名の有望選手を毎年獲得 ②初心者を毎年複数名獲得 ③一高との連携回復	①各種目の外部コーチ参加 ②ポイントランキング選手の育成継続 ③カイザーズジュニアクラブの発足	①年間50万円を援助できる体制 ②年間120万円を援助できる体制 ・スカウト30万 ・コーチング30万 ・遠征代等援助60万円
目標達成率(感覚)	①60% ②50% ③60%	①今回計画の①が承認されて60% ②0%、③10%	①40% ②0%
費用(OBOG会費からの援助)	約15万円/年 2023年度予算は25万円を計上	約15万円/年 2023年度予算は25万円を計上	—
費用(部費)	—	①振興費642,000円 ②強化計画費738,000円 ③計約138万円 ④必要年間費用 個人約16万円 チーム全体約250万円 ④-③=120万円 うち半分自己負担=60万円 半分を援助に充てる=60万円	—

資金集めの計画

- ・できるだけ直接のお願いをする。
- ・会費の1万円は変えない。
- ・ただし、3,000円、5,000円、8,000円のサポーター寄付を暫定措置とし、集金する。
- ・サポーター寄付者は会員とみなさない=慶弔規定等を適用しない。

* 学長委嘱の監督・コーチの処遇

1. 監督・コーチが学生の国内行事に随同行した場合、交通費と宿泊費の実費(原則、学生が要した額と同額)として年間4回に限り補導出張補助費を支給する。なお、リーグ戦及びトーナメント戦については、同一シーズンの第1節から最終節及び同一大会の初戦から決勝戦を1回の申請とみなす。
2. 監督・コーチが学生の海外行事に随同行した場合、交通費と宿泊費の実費(原則、学生が要した額と同額)として補導出張補助費を支給する。ただし、監督・コーチが本学の専任職員の場合は、年間200,000円を限度とする。
3. 補導出張補助費を使用した場合は、学生センター所長宛に補導出張補助費支出申請書および補導出張補助費使用報告書を提出しなければならない。
4. 補助・助言のために要する経費として、『補導費』を年間で、監督は240,000円、コーチは120,000円支給する。